

©1993 水島冴子・Studio Ghibli・N

# 海がきこえる

The Ocean Waves

opens March 15

at

Bunkamura  
LECINÉMA  
三軒谷宮下  
SHINJUKU MIYASHITA

東京の大学に進学した杜崎拓(もりさきたく)は、吉祥寺駅の反対側ホームにある人影を見た。中央線下り列車に姿を消したその人影は確かに武藤里伽子(むとうりかこ)に見えた。だが里伽子は高知の大学に行ったのではなかったのか。高知へと向かう飛行機の中で、拓の思いは自然と里伽子と出会ったあの2年前の夏の日へと戻っていった。

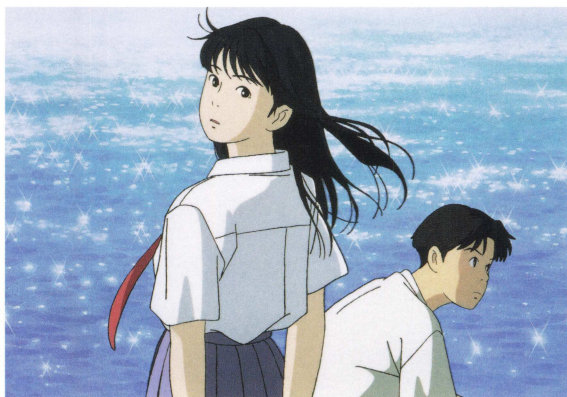


繊細さと細部への丁寧なこだわりが、この作品をなにか特別な、そして魔法のような映画たらしめる。  
New York Times

## 深く愛されるスタジオジブリの名作——貴重な劇場上映

1993年、作家・氷室冴子の原作小説を当時のスタジオジブリ若手スタッフが映画化、テレビスペシャルとして放映された『海がきこえる』。「平熱感覚」をキーワードとして制作されたこの映画の持つ繊細さ、美しく描かれたロケーション——高知、東京の街並み、そして、10代の終わりを迎える3人がゆるやかに自分たちの心と向き合う物語の魅力は、時を経ても決してみずみずしさを失わず、日本のみならず世界でも新たな世代が「発見」し、ファンを増やし続けている。深く愛されてきた作品でありながら、これまで映画館での上映機会は少なく、今回が久しぶりの貴重な劇場上映となる。

©1993 氷室冴子・Studio Ghibli・N



1993年 / 72分 / カラー / DCP キャスト：飛田展男(杜崎拓)、坂本洋子(武藤里伽子)、関俊彦(松野豊)  
原作：氷室冴子(徳間書店刊) 企画：鈴木敏夫、奥田誠治 制作プロデューサー：高橋望  
脚本：中村香 監督：望月智充 キャラクターデザイン/作画監督：近藤勝也 美術監督：田中直哉 音楽：永田茂  
制作：スタジオジブリ若手制作集団

海がきこえる 3.15(金)~限定上映

渋谷東映プラザ7&9F  
**Bunkamura ル・シネマ**  
渋谷区下  
Bunkamuraを愛するオフィシャルサプライヤー  
OMRON 信濃屋 KIRIN 大和証券グループ 東急グループ  
【火曜日ル・シネマサービスデー】【木曜日MY Bunkamuraオンラインサービスデー】【平日予約】1,200円